

後輩へのメッセージⅢ

鈴木 邦彦

藤井ゼミ4年生の鈴木邦彦です。今年から情報通信系の会社で営業企画職という総合職文系として就職します。また卒論では女性社会進出について研究しました。就職活動も卒業論文も始めるまで非常に不安で一杯でしたが、振り返ってみると、大学生活で最も自分自身を成長させてくれる出来事でした。正直なところ両方共決して楽なことではありませんが、その頑張った分だけ必ず見返りが来ます。まず就活に関しては不安が多いと思いますが、現実逃避せず自ら色々なことに興味を持ち積極的に行動を起こすことが最も大切だと思います。ES、面接等のアドバイスは、ここには書ききれないので一つだけ言わせていただくと、“経験を重ねる”に尽きるはずで、とにかく量を重ねて自分流のコツを掴むことが大事だと実感しました。

一生に一度しかない新卒は、自分が挑戦してみたい仕事を掴むまで必死に頑張るべきだと思います。また、卒論は学生生活のまとめなのでぜひ挑むべきでしょう。何か一つのことを研究することは深い知識を増やし、後に必ず生かすことが出来るはずで。

暇があれば、早い段階から興味がある内容を探し自ら関係する書物やインターネットを見ておくこと、毎日コツコツやることで充実した卒論が出来ると思います。軽いアドバイスではありましたが、就活、卒論を通して視野、価値観が広がり、やり終えた時はやってよかったという気持ちで一杯でした。

以上になりますが、悔いが残らないように精一杯頑張ってください。

3年生のみなさんへ

鈴木 稚菜

学生生活も残りわずかとなってきましたね。

まずは就活についてのアドバイスというか私の体験談です。だんだん就活を意識するようになってきて何をしたらいいのかわからなくて、とりあえずエントリーでした。いろんな人に言われた「とりあえずエントリー」も、今思えばたしかに、すごく思います。パソコンのメールBOXにたまるメールが許せなくて、大量のメールの中の大事なメールだけを見落とさないように注意して、それ以外はポイってしてしまっていたのが現実です。でも大事なものだけちゃんと管理してれば問題なかったです。

エントリーシートは細かく書かないことが大切です。全部書いちゃったら面接で言うことがなくなっちゃいます。だから最低限が大切です。面接は、最初はすごく緊張するけど、完ぺきに準備をしていくよりは、おおまかに言いたいことだけ頭にいれて行くほうが私は自然にできました。あとは清楚な態度がいちばんです。

次に卒論ですが、卒論に関しては「早め早め」が大切です。締め切り直前に慌てると全然いいことないです。私はなんでも直前まで追い詰められないと動き出せない性格だけど、今回のこの卒論に関してはその手は通用しなかったんで、気をつけて「早め早め」を心がけることをおすすめします。私は先生にも友達にも助けてもらってやっと完成することができました。本当に達成感がものすごく大

きいので最後まであきらめずにがんばってください。

就活も卒論も、ねばり強さが大切です。しつこく頑張ってください。

藤井ゼミで過ごした大学4年間

濱松 めぐみ

4年間を振り返ると、本当にサボりにサボった4年間だったと反省しています。

1・2年で単位が取れず、3年になっても一年の必修が残っているという始末。さすがにマズイと3年からは真面目に授業を受けましたが、その頃には周囲の友達はそのほど授業を取らなくても良いレベルにいました。おそらく3年生以降の残り2年間はほぼ一人で学校での時間を過ごしていたように思います。

そんな私ですから、藤井ゼミはとってもハードでした。1年生の時に藤井ゼミに入り（これは勝手に割り振られたのか、自分で選んだのかよく覚えていませんが）、速攻で置いていかれました。まずパソコンが出来ない事と、先生の説明がすさまじく早かったためです。内容もまったく理解できておらず、頭真っ白で1年間をなんとかやり過ごしました。もう絶対に無理っ！！と思ったのですが、2年生のゼミ選択でなぜかまた藤井ゼミを選びました。翌年も、そして最後の年も藤井ゼミを選びました。

友達のゼミと比べると藤井ゼミの課題の多さはひどかったし、内容も難しいものばかりだと思えます（先生はそんなことないっておっしゃるかもしれないけど...）。しかし、それでも4年間続けてこられたのは、なにより「楽しかったから」です。特に、ゼミ合宿！3回行って3回とも大爆笑です。もちろん、合宿前はそれまでに課題をやらなければならないのでぐったりするくらい精神的にやられますが、いざ始まればそんなの吹っ飛ばすくらい楽しいです。みなさんの中で、合宿がめんどうくさいとか思っている方もいるでしょうが、絶対に行くべきだと思います。行かないと損です。

最後に、私が4年間を通して藤井ゼミで学びたいと思った最大の理由は、藤井先生の人柄とおもしろさです。初めは怖い先生かと思ったのですが、実際はお話大好きでとっても愉快な人だと分かりました。特にお酒が入った時はおもしろすぎます！！みなさんも是非おもしろさを体感してみてください。

なんだか、まったくアドバイスしていない気がしますが、今後も課題などにめげずに卒業まで藤井ゼミで頑張ってください。

藤井ゼミのみなさんへ

鍵分友美佳

参考になるかわかりませんが、就職活動についてアドバイスしたいと思います。

皆さんが聞きたいことはやはり、面接のことだと思います。私は第一印象が大事かな？と思い、ちゃんと面接官の目を見て、最初から最後まで笑顔でハキハキ乗り切りました。最初はどうしても緊張してしまうので、練習で何社か受けた方がいいと思いますよ。緊張しているなんてもったいないですから！！私は絶対これだけは言うぞ！という言葉の単語を暗記して、その場で文章化して話していました。面接官が聞きたいことは大体が「大学生活で頑張ってきたこと」「どれだけこの企業に入りたいか」だと思います。

私はどんな質問をされても、大学生活頑張ってきたこと（サークル、アルバイト、もちろんゼミも）につなげ、自慢するかのよう堂々と言い、そしてどうやってそれが企業に活かせるのかを話してい

た気がします。それと、企業のHPをのぞいて企業の特徴など理解しておくのも大切です。最後にならず「質問は？」と言われるので3個くらいは質問を考えておきましょう。企業への関心がそこでわかるんだと思います。面接やグループディスカッションは慣れてくると楽しかったですよ。

しかし、私は圧迫面接のような辛いものも経験しました。何を言っても首をかしげられ、「今の言葉、どこの参考書に書いてあんの?」「当たり障りの無い感じだね」「君みたいな子はウチみたいな会社(そこはベンチャー企業でした)どこも取ってくれないよ」とズバズバ言われました。私はその時、メンタルをぶち壊されましたが、こんな言葉に負けないでください!

その企業が自分に合っていなかっただけです!

就活を続けていくと、一体自分の本当にやりたいことは何なのか?今自分がしていることは無駄なんじゃないか?どこからも内定もらえないんじゃないか?などいろんな考えが浮かんでくると思います。しかし、自分に合った企業は必ずあります。必ず内定ももらえます。

私は早くから広告業か印刷業と的をしぼっていましたが、色んな企業に出会いました。友達も出来ました。5時間かかって書き上げたエントリーシートがあっさり落とされたり、毎日毎日スーツを着て嫌になることもありましたが、今思うと何も無駄なことは無かったと思えます。

そして息抜きも大事です。私は電池が切れるのが早いので、あまり就活の予定を詰め込みすぎず、土日はパーっと遊んだり、就活の間に友達と集まってランチしたり、終わってから飲んだり、アルバイトも減らすことなくバリバリやってストレス発散していました。

私のアドバイスが果たして皆さんのお役に立てるかどうかは分かりませんが、相手も人間ですから気を張りすぎず、自分のペースで頑張ってください。